

①第13回三太郎峠歩こう会 [奄美市] 1月25日(日)



心地よい風とふるさとの自然を感じながら、旧国道(三太郎峠)約17kmを歩くウォーキング大会。毎年市内外から多くの人々が参加し、親睦を深めながら、完歩に挑戦する。コースは住用地区を中心に、三太郎茶屋跡地を散策。素晴らしい景色と伝統ある歴史や文化に触れてみては。

問い合わせ先 奄美市教育委員会住用教育支所地域教育課 0997(56)2030

にぎやかに春の訪れを告げる

③初午祭 [霧島市] 2月15日(日)



五穀豊穡や家内安全を願い、旧暦1月18日を過ぎた最初の日曜日鹿兒島神宮で開催される。毎年約20万人の人でにぎわう霧島を代表する春の祭り。

初午祭は背中に色鮮やかな飾りを付け、首には鈴を付けた全国的にも珍しい「鈴かけ馬」と呼ばれる馬が、踊り連を引き連れ練り歩く。太鼓や三味線の音にあわせ、マンボのような踊りを踊る鈴かけ馬の姿が愛らしい。思わずあなたも踊り出したくなるかも。

問い合わせ先 霧島市観光課 0995(64)0895



県内各地から

イベント情報

すもも(大和村)

バラ科に属し、果実は奄美プラムとして知られる。純白で可憐な花が2月中旬ごろ一斉に咲き出し、辺り一面雪景色のようになる。おすすめスポットは湯湾釜地区の山すそ。ほのかに上品さを感じさせる香りの木の下で、一足早い春を感じてみては。

必見!長さ50m氷の滑り台

②第14回「氷の祭典」アイスカービングin伊佐 [伊佐市] 1月31日(土)~2月1日(日)



冬の寒さが厳しい伊佐市で開催される氷を使ったイベント。約17体の氷の彫刻を夜を徹して彫り上げ、午前0時すぎからはそれぞれの彫刻がライトアップされる。50メートルの巨大な氷の滑り台は毎年大人気で、子供はもちろん大人も楽しめる。会場は伊佐市文化会館前広場で、初日は午後6時から、2日目は午前11時まで。澄んだ空気の中に広がる幻想的な世界を体験してみよう。

問い合わせ先 「氷の祭典」アイスカービングin伊佐実行委員会 (伊佐市地域振興課内) 0995(23)1311

⑤ 藤川天神臥竜梅祭り [薩摩川内市] 3月1日(日)



学問の神様・菅原道真をまつる藤川天神は、臥竜梅の里としても知られ、毎年時季になると、色鮮やかな花を一目見ようと、市内外から多くの見物客が訪れる。祭りの日は素晴らしい紅梅はもちろん、地元郷土芸能を鑑賞できる。祭りをさらに楽しみたいなら、事前予約制(1人千円)の酒と竹皮弁当のセットがおすすめ。梅の香りが広がる季節、お花見気分です少し足をのばしてみませんか。

問い合わせ先 薩摩川内市藤川地区コミュニティセンター 0996(42)0860

親子ふれあい フラワーフェスティバル

⑦ フラワーフェスティバル [指宿市] 3月7日(土)~8日(日)



期間中は春の花市場や寄せ植えなどが体験できるほか、ドングリコマ回しや巣箱作りも楽しめる。会場特設ステージではキャラクターショーや歌謡ショーが行われる。また、地元農家や県立山川高校の生徒が丹精込めて育てた野菜や農産加工品などの即売会も行われ、子供から大人まで楽しめる。会場はフラワーパークかごしま。イベント盛りだくさんの会場に家族みんなで出かけてみよう。

問い合わせ先 フラワーパークかごしま 0993(35)3333

④ かぎ引き祭り [鹿屋市] 2月15日(日)



祭りはかぎ状になった雄木と二股になった雌木の2本の神木を絡ませ、上高隈地区と下高隈地区に分かれて引き合う。豊作と林業の発展を祈念する祭りは、この地方の伝統行事で、市の無形民俗文化財に指定されており、350年以上の歴史がある。会場は鹿屋市上高隈町の中津神社。男たちが大きなかけ声で2本の神木を引き合う勇壮な雰囲気は必見。

問い合わせ先 鹿屋市文化課 0994(31)1167

春を呼ぶ「初市」

⑥ 初市 [加治木町] 3月7日(土)~8日(日)



加治木の初市は県内三大市の一つ。170年の歴史があり、古くは「人形の市」と言われていた。メイン会場は加治木町中心部の蒲生田通りと端山通り商店街。通りいっぱい立ち並ぶ露店は200店舗を超し、あふれんばかりのさまざまな品物が所狭しと並び、毎年多くの人でにぎわう。期間中は会場から歩いてすぐの加治木町役場が駐車場として利用できる。初市の風に吹かれると一年間は風邪をひかないそう。あなたも初市の活気を感じてみては。

問い合わせ先 加治木町商工会 0995(63)2295



かごしまイベントカレンダー

開催日	イベント名	場所	内容	問い合わせ先
1月 7日(水)	ドヤドヤサー	肝付町内之浦海岸	孟宗竹の勢いよく燃える炎で、一年間の無病息災を願う厄払いの行事。正月の飾り物を付けた長さ約15メートルの竹を束ねて立て、おはらいを済ませた7歳の子供が点火する。燃えさかる炎で竹笹を清め、やがて竹柱が倒れると、竹笹を持って帰ろうとする人が群がり、にぎやかになる。持ち帰られた竹笹は、一年の魔除けとして大切にあげられる。	肝付町教育委員会 (内之浦銀河アリーナ内) 0994 (31) 6555
2月 1日(日)	第7回 まほろば大和 ウォーキング大会	大和村奄美 フォレストポリス	毎年約300人が参加し、自然観察や写真撮影をしながら、思い思いのペースで楽しめる大会。コースは階段のない4.5kmのコースとボードウォークが特徴の5.5km、マテリアの滝を目指す7.5kmの3コース。また、大会特製の豚汁とおにぎりはリーズナブルな価格とやさしい味が好評で、ウォーキングをした後におすすめの一品。当日は早くに完売するので、事前に予約しておこう。	大和村 教育委員会事務局 0997 (57) 2154
2月 7日(土) ＼ 8日(日)	川辺二日市	南九州市 川辺町商店街	約220年以上の伝統を誇り、県内三大市の一つとして知られ、毎年数万人の人でにぎわう。約1.3kmにおよぶ会場の通りは、竹製品や陶器、飲食物など約400店舗が立ち並ぶ。また、買い物客に嬉しい全長50mの足湯コーナーが会場近くに設けられ、無料で楽しめる。お目当ての品物が納得価格でゲットできるかも。	川辺町商工会 0993 (56) 0247
2月 7日(土)	宮之城初市	さつま町 盈進小学校前町道	多くの露店が軒を連ね、町内外から多くの買い物客でにぎわう。宮之城初市では愛くるしい表情で色つけが鮮やかな宮之城人形がおすすめ。二年前に復興され、販売されている。また、会場から歩いてすぐの距離にある屋地・虎居商店街では、百円商店街を開催。百縁祭とも呼ばれ、100円で買える品物やお買い得商品、各店舗の目玉商品が数量限定で店頭に並ぶ。いつもより早起きして出かけよう。	さつま町商工観光課 0996 (53) 1111
2月 8日(日)	第22回 出水ツルマソン大会	出水市陸上競技場 および 出水市内コース	世界有数のツルの渡来地を駆け抜けるマソン大会で、毎年約2,000人のランナーが参加。今回は実業団で活躍中の選手をゲストランナーに迎える。コースは気軽に楽しむことのできる3kmと10km、一度はチャレンジしてみたいマソンコースの3コース。ツルが舞う景色を見ながら、爽快感を楽しもう。	出水ツルマソン 大会実行委員会事務局 (出水市商工観光課内) 0996 (63) 4061
2月11日(水)	お伊勢講	南さつま市笠沙・ 大浦・加世田地域	数え年で15歳になるニセと呼ばれる青年たちが中心となって行う伝統行事。ニセたちが女装をし、ひょっとこや恵比寿などのお面をかぶり、長刀や槍などを振り、ご神体の先払いをしながら練り歩き、今年一年の五穀豊穡や無病息災を祈る。市内の各地域ごとに独特のお伊勢講が行われるため、多くの見物客でにぎわう。	南さつま市 教育委員会生涯学習課 0993 (53) 2111
2月14日(土) ＼ 15日(日)	安楽山宮神社春祭り	志布志市 安楽山宮神社(14日)・ 安楽神社(15日)	14日は安楽山宮神社でお田植え行事や浜下りなどの神事が行われるほか、正月踊りが奉納される。この正月踊りは黒頭巾で覆面し、紋付羽織にモモヒキ姿で踊る。また、安楽上地区内にある9つの地域を踊り回る「庭回り」もにぎやかに行われる。15日は安楽下地区で庭回りが行われ、庭回りの後に安楽神社で打植祭が開催される。さまざまな踊りが奉納されるが、なかでもカヒギキは必見。勇壮な舞をこの機会に見てみては。	吉松宅 099 (473) 1410
3月上旬	ガウンガウン祭り	いちき串木野市 深田神社	昭和37年(1962年)に県無形民俗文化財に指定され、春の大祭として毎年この季節に行われる恒例行事。田植え前の田耕模様をおやじ役のテチョと息子役の太郎、牛を男性3名で演じ、地域一体となって今年一年の豊作を祈願する。即興で演じる演者の熟練されたコーモラスな演技に、観客の笑い声は絶えることがない。	いちき串木野市 文化振興課 0996 (32) 3111 (内線3613)
3月 3日(火)	稲荷神社 お田植え祭り	日置市東市来町湯田 稲荷神社	境内を田んぼに見立て、昔ながらの田植えや稲刈りなどの農作業を行う様子を演じ、五穀豊穡を願う東市来地区の伝統行事。劇中は鹿児島弁で、数頭の牛役たちが劇を盛り上げる。牛の面をかぶり、おもしろおかしく演じるさまは一見の価値あり。春の陽気に誘われて、出かけてみては。	日置市 東市来支所教育振興課 099 (274) 2111
3月 3日(火)	第25回 俊寛ジョギング大会	喜界町僧俊寛像前ほか	平安末期に活躍し、亡くなった僧俊寛の遺徳をしのんで行われる毎年恒例のジョギング大会。参加対象は小学生以上で、コースは2kmと5km、10km。だれでも気軽に参加できるのが嬉しい。春の暖かい海風を感じながら、家族や友人たちと楽しもう。	喜界町企画課 0997 (65) 1111 (内線23)